

千葉県立松戸国際高等学校 2022年度活動報告

本校は、国際化社会に対応しうるグローバル人材の育成を目指して、前身の千葉県立松戸東高等学校から、平成6年4月に松戸国際高等学校へと改編され現在に至っている。普通科と共に国際教養科を有し、外国人・帰国生徒等の受け入れを行い英語教育、国際理解教育等に力を入れている。ユネスコスクール（ESD）活動が目指す、地球規模課題の解決のために、自ら考えて行動できるグローバル人材の育成は、まさに本校の目指すところである。

また、本校は千葉県高等学校教育研究会ESD部会の事務局校でもあることから、ユネスコアジア文化センター（ACCU）等とも連携した国際交流活動を行っている。

一方、一昨年度からのコロナ禍で、本校も未だに多くの行事が中止や変更を余儀なくされているところだが、そんな中でも今年度は“withコロナ”の精神により、できることから様々な活動に取り組んだ。

特に、本校の名物である松耀祭が2年ぶりに一般公開できたことや、3年ぶりにアメリカ短期留学が復活したこと、さらに千葉大学との連携においても、久々に対面型の国際研究発表会が復活し、ESD部会の中心校として参加し活動報告を行うなど、全体を通して明るい話題が増え、新たな芽吹きの1年であった。

I 松耀祭

全て生徒が主体となり企画・運営する本校の伝統行事、コロナ禍でもできることを追求

○松耀祭実行委員会＊不可能に挑戦しました！



○初参加のグローバルクラス（外国人生徒）



○久しぶりの一般客（中学生）を迎えて



○体育館での黙食ランチ＊これも生徒が企画



II ボランティア活動

3年目の地域清掃活動、年々参加者が増えて、今年はALTの先生も参加

○自分たちの通学路は自分たちの手で



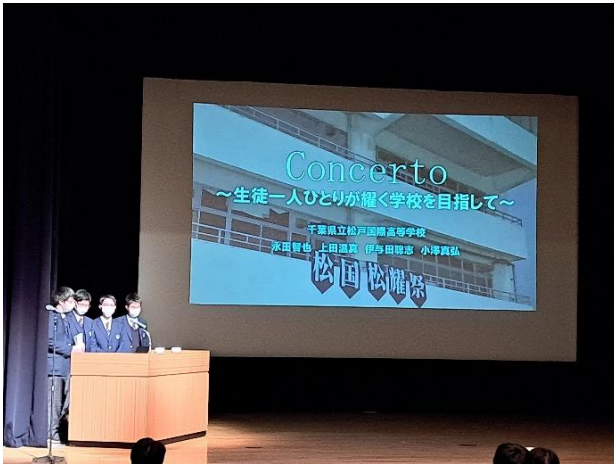
○ALTの先生方も一緒に



III 外部での成果発表

本校の様々なユネスコ活動を生徒会の生徒たちが中心となって発表

○さわやか県民プラザ「発表甲子園2022」



○千葉大学教育学部主催「国際研究発表会」



○千葉県高等学校教育研究会
ESD部会「生徒ESD研修会」

千葉大学教育学部との連携のもと実施
久々の対面式研修会 *加盟校の生徒たち

本校では、この他にも多くのユネスコの理念に基づいた教育活動を実践している。今後もこれらの活動をユネスコの説く「平和・共生」という一本の軸で繋ぎ、地球市民の育成に励んでいく。